

トサボリ

今月の題字写真 >>>

モミジ

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA TOSABORI
OSAKA Y.M.C.A. CROSS CULTURAL CENTER
1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU, OSAKA, JAPAN, 550-0001
<http://osaka-tosabori.wix.com/tosaboriys>
CHARTERED JUNE 5th 1951

2020
12



2020~2021 年度 岩原 義則 会長主題

**A man keeps cherishing his old knowledge,
so as continually to be acquiring new. (温故知新)**

主題

- 国際会長 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ) Jacob Kristensen (デンマーク)
- アジア太平洋地域会長 “Make a difference” 「変化をもたらそう」 David Lua (シンガポール)
- 西日本区理事 “Let's do it now!”
2022 に向けて誇りを持って All is well. 古田 裕和 (京都トウビー)
- 中西部部長 “ワイズの力を信じて、自ら行動しよう” 吉田 由美 (大阪なかのしま)

〈 EMC-E YES 〉

次の世代、新しいクラブ設立の為に、YES 献金を 100%。

竹園 憲二 EMC 事業主任 (京都 ZERO)

強調 テーマ

聖句

あなたがたの遭った試練で、世の常でないものはない。神は真実なかたです。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていて下さいます。

コリント人信徒への手紙 10 章 13 節

影響されたもの

只野 未来

何かを決める時、すっごく有名な人が書いた本を読んだり、テレビで見た番組に感銘を受けたり、旅行に行った時に衝撃を受けたり、日常を過ごしてなんとなく思いついたことであつたりと様々な理由で自分で答えを見つけられることあると思う。私は中学生の時に見た『ベルサイユのばら』というマンガを読んで将来大学でフランス語の勉強がしたいと決めた。将来のことなんて全然全く考えていなかったが、とにかくフランス語を話せるようになってフランスに行つてベルサイユ宮殿を見るんだと当時の私は固く決心をした。そして高校大学と語学の学校に通い、果たして 20 歳の時にフランスで 1 人でベルサイユ宮殿に行くことができた。

友だちと本屋に行ったりした時に昔流行ったマンガとかを見つけると「これあたしのバイブルやったわー」と言い合うことがある。この本が私の人生に大きく影響を与えたみたいなき

味で私たちは使っている。中学～大学、あるいは今も私のバイブルは『ベルサイユのばら』である

しかし、つい最近完結したが『ハイキュー!!』というマンガも私のバイブルに仲間入りしている思う。『ハイキュー!!』は男子高校生がバレーボールを通じて春高を目指し更にその先までを描いているマンガである。私も同じバレーボールとして技術であつたりメンタルであつたりと読んでいて感銘を受けることがとても多い。よくあるスポーツマンガにない負けるといふこともあつて本当に面白く読むことができる。

マンガは完結してしまうが、私のバレーボール生活は続き、できることならフランスにもう一度行きたいという思いもある。私の人生に影響を与える『バイブル』はまだまだ増えるだろうと思う。いや、増え続けて欲しいと思う。

To acknowledge the duty that accompanies every right

報告者 ・ メネット 和田 早苗

11月例会報告

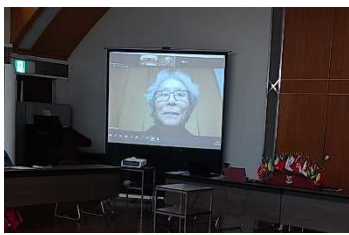
ZOOMでは参加できないメンバーとお会いするためにも、今月は大阪YMCA会館チャペルを会場としての対面例会となった。出席者は岩田、奥田(web)、川岸、工藤、小坂井、福島、丹吾、只野、和田(メネ)、ビジター:今井メン(なかのしま)。岩原会長が仕事で遅参のため副会長丹吾メンによる開会点鐘にて始められた。司会は川岸メン、聖句朗読は福島メン。ワイズソングは起立し演奏だけを聴く。ビジターとメネット紹介。

インフォメーションは、11月28日(土)YMCA大会がリモートで行われるため申し込むこと、例年の行事クリスマスコンサート、ボーリング大会は中止、チャリティーランも中止ではあったが寄付の部分は障害児スポーツの資金なのでしてほしい、クリスマス献金も例年どおりお願いします、とのこと。ワイズ新年会中止、ワイズコロナ助け合い募金より、一万円づつ西日本区全クラブに還元返金されたことなど、担当主事が欠席なのでまとめて福島、工藤メンより告げられた。

日時：2020年11月19日(土) 14:00~15:30
場所：大阪YMCA101号室(チャペル)
内容：土曜日例会 メンバースピーチ

今例会より毎回2名のメンがスピーチすることに決まっていたので、トップバッターとして、只野メンが「私の仕事について」、次いで岩田メンが「歩いてみると、こんなところに十字架が」と題し語っていただいた。只野メンは、一般の人が入ることも見ることもできない病院内部の重要部分、昨今コロナで大変神経を使う部署で、直接患者に対応する医師たちの助けになるよう働いていると言うお話。岩田メンは、旅行中にふと見つけたお寺の十字架。お寺なのにどうして十字架が彫ってある手水鉢が？から、お地藏さんに？お寺の瓦に？と、思いがけない所にある「十字架」の数々を集めて撮った写真を紹介された。

次にweb参加の奥田メンの近況です。自宅屋上で栽培しているものについてのお話。今年はレモンが60個も収穫できたそうです。来年に向けては昼顔を栽培し、可愛い花も見て、干瓢を作りたいそうです。



報告者 ・ 福島 眞一

11月役員会報告

【報告事項】

1. 11月例会 日時：11月21日(土) 14:00~15:30
会場：大阪YMCA会館101号室 チャペル
プログラム：メンバースピーチ

①只野未来メン「わたしの仕事について」②岩田 晋メン「こんな所に十字架が」③奥田時夫メン「近況報告」

出席者：メン：8名(敬称略) 岩田、奥田、川岸、工藤、小坂井、丹吾、只野、福島 メネット：1名 和田早苗メネット
ビジター：1名 今井利子ワイズ(なかのしまクラブ)

ニコニコ：2,700円 トスファンド：5,000円

感想：WEBで奥田メンとつなげた例会が開催できた。メンバースピーチも大変好評で、時間が足りないくらいだった。質疑時間も取れなかった。スピーチの時間配分をきっちりした方が良かった。今後は時間配分を決め、スピーカーと打合せを行う。

2. 会計報告 今後の例会時には、ニコニコとファンドオークションに皆さんもっと協力してください

3. 事業の中止など

中西部合同新年会中止、クリスマスコンサート中止、チャリティーボーリング大会(開催するかどうかも未定)

4. 中西部との連絡チャンネルの再構築について：岩原会長以外に丹吾副会長にメールを配信してもらえるようになった。

5. 中西部評議会の開催 11月7日(土)クラブからの出席者・・・岩原会長・工藤地域奉仕・環境事業主査 クラブ運営費用として、中西部から10,000円のクラブへ交付があった。

6. YMCA大会の開催 11月28日(土)WEBでの開催

7. クリスマス献金・チャリティーボーリング大会とチャリティーランの献金について

日時：2020年11月24日(火) 19:00~21:20

場所：オンライン Zoom 役員会

出席者：岩原、岩田、岡野、奥田、川岸、工藤、小路、丹吾、福島、和田メネット(敬称略)

【協議事項】

1. 中西部から10,000円のクラブへ交付金があった件で議論があった。主旨がはっきりしない交付金で、かつ説明が理事通信のみで有り、クラブ員にはわかりにくかった。今後は理事キャビネットと各クラブ間の意思疎通を円滑に行えるよう、岩原会長から次回の評議会時に意思疎通の円滑化についての申し入れを行うことを決めた。

2. チャリティーランの献金に変わるYMCAからのマスクセットの販売について 1セット5000円のマスクセットを、クラブメンバー(15名)X1,000円(2セット/メンバー)=15,000円を購入することとする。(差し合ったって小路連絡主事が立て替えて、12月例会時に持ってくる。)クラブ会計から支出する。

3. 12月例会

日時：12月19日(土) 15:00~16:30

会場：大阪YMCA会館101号室 チャペル

会費：500円 内容：メンバースピーチ 丹吾礼メン「SDGsを知ってみよう。」担当班：B班 岩田、工藤、小坂井、丹吾、只野
司会：丹吾 聖句：岩田 TOSファンドオークション：岩田
WEBでも参加できるようにする。

4. 1月例会 日時：1月23日(土) 14:00~15:30・未定

会場：大阪YMCA会館101チャペル、会費：500円、内容：未定

5. 今期下半期例会の予定と内容について 未定

6. 中西部部報の件 皆さんには発行日にメールで転送します。

(丹吾メン)印刷したものは4部を紙ベースで中西部からもらって後日郵送する。(北村、小坂井、灰谷、今村メネット)

11月例会出席者数		11月例会出席率		B F		ニコニコ		TOSファンド	
メンバー	7名	会員例会出席者	7名	切手	0pt	11月分	2,700円	11月分	5,000円
広義・功労会員	1名	メーキャップ	3名	現金	0pt				
メネット	1名	合計	10名						
コメント	0名	現会員数	14名						
ビジター・ゲスト	1名	出席率対象	10名						
出席者合計	10名	出席率	100.0%	今期合計	pt	今期合計	40,900円	今期合計	14,200円
								残高合計	1,289,001円

トントン・インタビューです

No.18

岡野 泰和さん

11月12日に宝塚厚生幼稚園を訪問してインタビューしました。元気な子ども達が遊んでいる園舎で銀行員から幼稚園の理事長になられた半生を伺いました。コロナ禍で幼稚園の経営が難しい中、創意工夫で運営している様子も伺いました。

好きな言葉は何ですか？なぜですか？

渡辺和子さんの“置かれた場所で咲きなさい”です。半生を振り返ったとき、これまで色々ありましたがその時々、いつも神様が道を用意してくださっていたと実感しとても感謝しています。

小さいときのことを教えてください。

小さいときはとても体が弱かったです。お医者さんから3度ほど死ぬかもしれないと言われたようです。小学校でも1年時は病気で長期入院し半年ほどしか学校に行けませんでした。人見知りが強くとおとなしい子どもでした。小学3年生の時に、ボーイスカウトに出会い活動していく中で徐々に体力もつき人見知りもなくなりコミュニケーションがとれるようになりました。初めてのボーイスカウトのハイキングに行った時はトイレに行きたいと言えなくてお弁当の後にお漏らしをするような子どもでしたが、中学3年生の時にはカナダのアルバータ州で開催された世界大会(第15回世界ジャンボリー、1983年)に日本代表として参加するまでになりました。カルガリー、バンフ、エドモントンに行きましたがロッキー山脈の麓で山や湖の自然がとても素晴らしかったです。カウボーイの文化が残っている街でした。大きなカルチャーショックを受けました。カナディアンロッキーで2週間のキャンプをしましたが、国によっては、ボーイスカウトとガールスカウトが一緒に女子が参加しているのに驚きました。シャワールームに女子がいたりしてドキドキしました(笑)。色々な国の人と野外プログラムに参加したり、ワッペン・バッジの交換をしたりして世界中のスカウトと交流できました。そのあとホームステイや、カナダからメキシコまでアメリカ大陸を縦断する長距離バスの旅もしました。中学生の多感な時期にこれらの異文化体験ができたことはその後の人生に大きな糧となりました。

ボーイスカウトの活動は今も指導者として続けていて、2007年イギリスで開催された第21回世界スカウトジャンボリーには、今度は隊長として中高生達を引率して参加しました。お漏らしのひ弱な子どもが世界を相手にたくましく成長することができました(笑)。

学生時代はどんなでしたか？

アメフトに興味があったのでプレーの出来る関西学院中学部に進み高等部までやりました。中学部時代に恩師の導きでキリスト教と出会いました。自由な校風のなか多くの恩師と級友とのかけがえのない出会いに恵まれました。大学での勉強は将来教師になろうと考えていたので、教育心理学を学びました。交換留学生としてテキサス州ダラスにある南メソジスト大学で一年間アメリカの学生や外国からの留学生たちと寮生活を謳歌することもできました。関学での学生生活はその後の人格形成においても、また多くの同窓生たちとの絆となる礎になりました。

銀行に就職されたのですね、きっかけは何ですか。どのような仕事をしましたか。？

教員免許は取ったのですが、まずは海外で仕事がしたくて、当時海外に進出しようとしていた地方銀行に就職しました。本店で外国為替に配属になりましたが、その後のバブルの崩壊で海外支店開設の構想も下火になり、大変お世話になって申し訳なかったのですが、3年間勤めて退職しました。

辞められてからはどうされたのですか？

マサチューセッツ州立大学アマースト校の大学院に留学して、多文化教育を研究しました。米国東海岸ボストンから西へ車で2時間くらいの所です。“少年よ大志を抱け”のクラーク博士が創立した大学で後に内村鑑三が学んだ大学です。近くには同志社大学の設立者新島襄が学んだアマースト大学もあります。私は大学院に行きながら日本語補習校の教師や大学の講師、現地の公立や私立の中学校などで教員をしていました。仕事の合間に日本に関連の深いアメリカのキリスト教の流れをたどる旅をしたりもしていました。2001年10月に結婚してしばらくはアメリカで新婚生活を送る予定でしたが、9月11日の米国同時多発テロ事件があり予定が狂いました。9月11日当日は仕事の都合で日本に一時帰国していて、2日後にアメリカに戻る予定でしたがしばらく飛行機が飛ばなくなりました。その日を境にまさに世界が一変しました。そして10月に結婚後メネットはアメリカに来てくれましたが数カ月で帰国することになりました。

その後はどうしたのですか？

2002年にアメリカから帰国しました。しばらく家業の農業をしていたときにボーイスカウトの先輩の道関和宏さん(元土佐堀クラブ)からお誘いいただき、フェイマス・ピープル・プレーヤーズ(Famous PEOPLE Players)というカナダの劇団の日本公演のお手伝いをしました。障がいのある役者さんたちによる人形劇団でしたが、その公演に大変感銘を受けました。長尾亘ワイズ(現宝塚クラブ、元土佐堀クラブ)・ひろみさん(元土佐堀クラブ)ご夫妻が中心になって公演のお手伝いをされていて工藤ワイズもおられました。それがワイズに関わった最初でした。道関ワイズ・長尾ワイズご夫妻・工藤ワイズのおられた土佐堀クラブにお誘いいただき入会しました。

またパンゲアと言うNPO法人の設立にも関わり今も理事をしています。この法人の理事長は9月11日の同時多発テロの標的になった飛行機に乗る予定だった日本人で、テロの後にアメリカ社会が一気に閉鎖的・人種差別・無寛容になったことでこのままでは世界が大変なことになると思い、人や文化の相互理解が大切だと考え、パンゲアと言うNPO法人を設立しました。世界の五大大陸は元々一つでつながっていました。その大陸の名前をパンゲアと言います。五つに分かれた大陸を一つにしたいという願いで活動しています。インターネットを使いユニバーサルプレイグラウンドと言う子どもたちの遊び場を作って、世界各国の子ども達がプログラムを通して遊んでいます。多くの国の文化を相互に理解することで、皆が地球市民を目指し平和構築に貢献していくことが目的です。

幼稚園の理事長・園長とワイズ活動・パンゲア活動と色々な活動を精力的にこなされている話を伺いました。岡野さんの周りには、素敵な人が集まってきてその結果が今の岡野さんになっているのかなと思いました。

ブリテン委員長 福島眞一

ワイズメンズクラブのアジア会長をされていましたが、 どんな経緯で就任されたのですか？

2006年に国際BF代表として北欧に1ヶ月間派遣されました。環境問題の取り組み、ワイズとYMCAとの協働、YMCAとスカウティングの三つのテーマを持って北欧を回りました。大きな学びがありました。各国で現地の多くのワイズと交流しました。また長尾ひろみさんがアジア会長をされたときにお手伝いをしました。土佐堀クラブはIBCも多く、故今村ワイズをはじめ灰谷ワイズ、北村ワイズ、工藤ワイズなど多くの先輩方から指導を受け、世界中の人々との交流は大切だと思っていました。そして国際議員として2013-2015年度アジア地域会長に選出されました。



幼稚園に係わるようになられたのはどんなきっかけですか？

大学時代にお世話になっていた教育学の先生がこの幼稚園の理事長を長くされておられました。請われて私も理事をしていましたが、これからの幼稚園経営も大変になると言うことで、5年前に理事長を引き受けることになりました。宝塚市で唯一のキリスト教保育をする小さな幼稚園です。今年で創立80年目になります。今は幼稚園の園長の仕事もしています。コロナウイルス感染症で大変なことに
なっていますが、幼稚園について教えてください。

今年の3月から園の閉鎖が始まりました。卒園式は屋外で行いました。4月5月は休園でしたが、すぐにSNSを使って家庭でのリモート保育を始めました。教師たちによる絵本の読み聞かせ、工作、体操など家庭でできる幼児教育や感染予防法などを配信しました。6月からの再開後は感染予防に努めながら、様々な行事もできるようになりましたが、幼稚園児、保護者、教職員たちとの協働で試行錯誤しながら日々子どもたちの成長を守る新しい日常に取り組んでいるところです。クリスマスを迎えるこの時期にまた感染が急拡大してきて、今後の保育が心配です。

ご家族について話してください。

同居している母と妻と娘の4人家族です。娘は4月に中学生になりました。部活のバレーボールとガールスカウトの活動を熱心に行っています。メネットは10年間の銀行勤めのあと結婚を機に専業主婦でしたが、元々幼児教育に関心があり子育てが一段落した今は幼稚園教諭をしています。母は喜寿を迎えた今でも毎日元気に家事をしています。家族がみな元気にいられることを本当に感謝しています。

寄稿者 ・ 岩田晋 YMCA 国際専門学校留学生は提言する
大阪YMCAを知っている、7階の国際専門学校を知る機会意外と少ないのではないだろうか。「国際ホテル学科、国際ビジネス学科があり、ホテルなどへ進む人が多い」、この程度のことは私もある程度はわかっているが実際にどんな授業が進められているのかはワイズメンでありながら、あまりよくは知らないというのが正直なところ。ワイズと国際専門学校が接触する機会が少ないことによるかもしれない。どんな学生が、どんな授業を受けているのか、これは以前から気になっていたところ。外国を理解するには、まず言葉を習得することが大切であることは言うまでもなし。国際専門学校で日本語習得に頑張っている留学生による発表の評価会が11月17日にあり、私も評価員の一人として、この発表内容を聞くチャンスに恵まれた。学生達が日本で生活をするようになり、自分の出身国との違いに気付く、その疑問に思ったことの解消のために自分たちで行動してみて、具体的な解決策を作り、日本語で発表。しかも、個人ではなく、グループでの発表。グローバルな社会的起業家育成を狙いとされたコースの一環で、「学生自身が社会的ニーズに焦点を当てた企業を設立し、事業計画立案・開始・運営の基本について学ぶ」ことを狙いとされている。日本人が日常何げなく見過ごしている現象で？と感じたことの1解決策を編み出そうというもので、出身母国に比べて奇異に感じられるであろう。割り箸ポイ捨てや食べ残しの食品ロス問題などに真剣に取り組む姿勢は私達をハッとさせるものがあり、そういう意味でもこの発表は中間報告とは言えるものの、日本社会への警鐘でもあるような気がする。留学生のこういう動きを真摯に受け止め、それを応援して行くこともワイズ活動の範疇に入るのはないだろうか。発表チームの中には韓国出身の学生もいて、出身地は全羅南道とソウルとのことで親近感を覚えた。頑張れ！留学生！
(写真左)4チームメンバーがそろって
(写真右)韓国のtreeチームの二人を中にして

寄稿者 ・ 川岸清 随想「クリスマスを迎えて姉を想う」

この時期になると、子どもの頃が思い出される。賑やかなクリスマスの贈り物に囲まれ嬉々とする今の子どもたちの姿と、自分の貧しい子供時代を比べるからである。あの頃は何かにつけ物資不足、食料は勿論、なかなか「お菓子」なる物にはありつけなかった。その代り「昆布」の切れ端をしゃぶったり、庭のイチジクやザクロなどが熟するのを待ち構えて食べたものである。食べ物だけではなく紙も不足していた。白い「ちり紙」などは手元になく、おおかたは新聞紙がその代用品であった。印刷物にも削っていたと言ってもよいほどで、古本屋が大繁盛であった。(その経験が身につけているので、私は今でも印刷物を貯めこむ癖があり、家内の苦情を呼んでいる。)

小学校の頃のあるクリスマスの朝、目を覚ますと枕もとに一冊の新しい少年雑誌が置いてあった。それが一番上の姉からの物であることはすぐに分かった。キリスト教主義の女学校を出た姉は、幼い弟の私に聖書の話の時々してくれていたからである。その雑誌の少年小説、冒険小説、美しい挿絵などが私を魅了した。読書熱が高じて家にあった大人の頓智本(曾呂利新左衛門など)は漢字の振り仮名を頼りに読んで、お向かいにあって古本屋さんで本を借りたり、友達と回し読みなどしたものである。読んだ本の内、大林清作「少年讃歌」や佐藤紅緑作「あゝ玉杯に花うけて」などは深く心に残った。少年時代の友情、正義感、助け合いの精神などは、これらの読書と友人関係、恩師などとの交流の中で育まれたものであった。「三つ子の魂百まで」今も私の精神構造の根底にはそれらの「価値」が生きていると思う。

そのような私の人間形成に影響を与えた姉が、この夏、天に帰った。故郷、金沢で、ささやかな葬送式が甥たちにより仏式で営まれた。骨揚げ後の食事の際、私は姉のこと、彼女がキリスト者であったことを皆の前で紹介した。甥たちは一様に驚いた風であった。

正直なところ、私も姉が洗礼を受けたキリスト者であったことはつい数年前まで知らなかった。数年前の夏、帰省した際に恩師宅を訪問したのだが、その際、恩師夫人から「お姉さんは若い頃に洗礼を受けておられるのですよ。」と言われ、驚いたのである。夫人はご自身が通っておられる教会の100年史を見せてくださり、その記録の中に受洗者として姉の名前が記されているところを開いてくださった。確かに姉は受洗していた！

姉は洗礼を受ける際、母には承認を受けたが、キリスト教を「耶蘇」と言って嫌っていた父には内緒にしていた。母から「洗礼を受けても良いが、嫁したらその家の宗教に従いなさい！」と厳命されていた。その約束に従い、舅、姑、夫が存命中は仏教の仕来りを守って過ごしていた姉だが、一人暮らしとなるや時折、母校の同窓会などが行なうバブルクラス等に通っていたとのこと。人生最後の数年、誰に気兼ねすることもなく、若かりし頃の信仰に立ちかえった姉が、こまかく慕わしく思われる今日この頃である。

その後、甥たちは相談して姉が受洗したその教会を訪ね、帰天の報告をすると同時に、相当額の感謝献金をした由、恩師夫人からのお手紙で知った。感謝！
(2020.11.19 記)



70周年記念エッセイ

祝☆★☆☆土佐堀クラブ創立70周年

No.5 岡野 泰和 ワイズ

来年の6月に大阪土佐堀クラブはチャーターから70年になります。8月のブリテンから皆さんの思い出をリレー形式で掲載しています。今回は岡野泰和ワイズです。

国際交流再構築にむけて

2020年はすべての人にとって大変な年になりました。世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか早くも12月を迎えました。日本でも再び感染状況が緊迫してきたなか、感染対策の強化が求められ対応を迫られています。医療や介護の現場をはじめ様々な場において困難な状況のなか日々奮闘されている多くの方々のお働きに感謝と敬意が尽きません。

ワイズメンズクラブにおいても例会の開催や各種の事業、研修等において「新しい様式」を取り入れながら試行錯誤や様々な工夫が行われているところです。そしてその影響が最も大きいことの一つに国際交流事業があります。ワイズメンズクラブの大きな魅力の一つである国際交流が思うように進まなくなりました。実質的に海外との往来ができなくなった状況のなかで、これまでのようにお互いの国を訪ね、海外のメンバー達と握手を交わしながら交流することができません。現在では海外はおろか、国内でもこのような交流が難しくなりました。お互いに肩を抱き合いながら、親しくテーブルを共にし、語り歌い合うことができなくなった今、過日の濃密な交流がなんと貴重でかけがえのない時間であったかをあらためて感じさせられます。

土佐堀クラブも今年70周年を迎えるにあたり、交流の機会となる記念例会や事業を検討していた矢先にコロナ禍の状況を迎えてしまいました。今年の3月に予定していたクラブメンバーが台湾を訪問し、台北セントラルクラブの記念事業に参加することも中止となりました。デンマークで開催される予定だった国際大会や国内の多くの大会も中止を余儀なくされました。

このような状況で私たちはこれからの交流事業を再構築する必要があります。地域の奉仕活動とともに交流活動も「新しい様式」を考えていかなければなりません。幸いに私たちは今IT技術を使って実際に会うことができなくても遠隔でより豊かなコミュニケーションをとる手段を得つつあります。クラブでもリモート会議システムを使い例会や役員会を行えるようになりました。この武器の利点はそれほど多くのコストをかけることなく距離の壁を超えることができることです。実際に肩を抱き語り合う濃密な交流はできませんが、よりお互いを身近にその息遣いを感じながら語り合うことはできるようになりました。やがてコロナ禍が収束し、またお互いの肩を抱き合えるようになるまで、しばらくはこの武器を使いながら遠方や海外の同胞たちとも交流を続けていくことを考えていければと思います。我々がいま何よりも必要としているのはお互いを思い合う絆ではないでしょうか。

最後に私の好きな映画のなかの言葉を引用して筆をおきます。

To see the world,
世界を見よう
things dangerous to come to,
危険でも立ち向かおう
to see behind walls,
壁の裏側をのぞこう
to draw closer,
もっと近づこう
to find each other and to feel.
お互いを知ろうそして感じよう
That is the purpose of life.
それが人生の目的なのだから

LIFE誌の社訓 映画『LIFE!』より

2020

December

TOSABORI

MONTHLY

MEETING

PROGRAM

＜土曜日 例会＞

日時：2020年12月19日（土）15：00～16：30

普段と曜日・時間が違います

会場：土佐堀YMCA 10階101号室（チャペル）

会費：500円

司会：丹吾 礼メン

担当：B班 岩田、工藤、小坂井、丹吾、只野

- | | | |
|----------------------|------|----------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | | 岩原義則会長 |
| 2. ワイズソング | オルガン | 和田早苗メネット |
| 3. メネット紹介 | | 司会者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | | 岩田晋メン |
| 5. インフォメーション | | 福島真一書記 |
| 6. YMCAニュース | | 小路清一担当主事 |
| 7. メンバースピーチ | | |
| “SDGsを知ってみよう。” 丹吾礼メン | | |
| 8. TOS ファンドオークション | | 岩田晋メン |
| 9. 誕生日・結婚記念日 | | 岩原義則会長 |
| 10. ニコニコ | | 司会者 |
| 11. YMCAの歌 | オルガン | 和田早苗メネット |
| 12. 閉会宣言・点鐘 | | 岩原義則会長 |

※例会の出欠は、書記福島までご連絡下さい。

ゲスト・ビジターの方の参加も事前に連絡して下さい。

※オークションの品物を持参して下さい

※食事はありません。昼食を済ませてお集まりください。

※新型コロナウイルス感染予防のため以下に注意して下さい

○体調がすぐれない場合は、迷わずに欠席して下さい。

○マスクを着用して入館・例会に参加して下さい。

○ワイズソング・お誕生日の歌・YMCAの歌は、歌わずにオルガン演奏を聴きましょう。

和田早苗メネットの素晴らしい演奏です。

○飲み物は各自でご用意ください。



2日 北村京子
12日 只野未来

今月の題字写真
福島メン提供
モミジ



6日 川岸清・和田早苗

▽ 今後の予定 ▽

— 12月 —

19日(土)クラブ例会(15:00～)

土佐堀YMCA

22日(火)第二例会・役員会(19:00～)

WEB開催

22日(火)ブリテン委員会(19:30～)

WEB開催

— 1月 —

19日(火)(18:30～)又は23日(土)(14:00～)

クラブ例会

土佐堀YMCA

26日(火)第二例会・役員会(19:00～)

土佐堀YMCA

26日(火)ブリテン委員会(19:30～)

土佐堀YMCA

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



★第328回早天祈祷会★

日時…2020年12月18日(金)7:30～8:15

※朝食会は実施しません。

証し…高橋 順 さん(西野田鶴見橋教会牧師)

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

★大阪YMCAクリスマス献金にご協力をお願いします!★

*国際協力募金…日本YMCA同盟が行う国際支援活動(災害、紛争、貧困等の解決)のために

*個別支援プログラム支援金…地域における課題解決(地域支え合い・交流、世代間交流、児童養護施設招待キャンプ、子育て支援など)のプログラムのために

*国際奨学金支援金…海外からのユースの勉学支援のために

*国際協力活動支援金…グローバル社会に平和を創りだすアジアのユース育成のために

*青少年育成活動支援金…チェンジメーカーとして社会課題解決に参画する青少年育成のために

【期限】2021年1月31日(日)まで

【お問合せ】お近くのYMCAまたはクリスマス献金事務局(TEL: 06-6441-0894)